

姉と弟の会話⑧ー1 中学理科 身のまわりの現象／いろいろな力1

力のはたらき

2021.7 Mulberry / Lakeside House K

2022.5 修正版

秘密の研究所2階食堂の広い調理場で、料理長（もと化学の大学教授 物理・化学研究室顧問兼任）が椅子に座って周囲を眺めていた。20XX年XX月XX日、土曜日午前11時50分。僕は中学生、姉さんは高校生だ。いつもの席からヘリポートや飛行場が見える。所長が操縦する美しい流線形のグライダーが着陸態勢に入った。きれいに接地し、減速してやがて停止したのを確認して、僕たちは調理場前のカウンター席に移動した。

「決めた？ 今日の日替わりはステーキだよ」と料理長。僕と姉さん、研究員I（アイラ 理工学研究センター 機械工学研究室）の三人は日替わりランチを注文した。キッチンの上から伸びた二本のロボットアームが、トントントンと包丁で野菜をきざむ音が聞こえる。

「みんなと同じやつ」所長が途中でやって来た。彼の名前はスティーブン。四人横一列に並んで食べる。僕はステーキをよくかみしめた。「おいしいね！」料理長が満足そうな顔をして自慢げにうなずいた。

「なんていい天気でしょう。ちょっと飛んでくるわね。ジェットグライダー」姉さんは一人で飛行場に向かった。姉さんのグライダーはナウシカのメーヴェに似ている。僕も食事を終えて椅子から立ち上がる。洗面所に移動して歯磨き粉のチューブを押すと、中身がニョロっと出てきた。

一階ラウンジに僕とアイラ、スティーブン。午後1時過ぎ、心地よい音楽が静かに流れている。高い天井には吊り下げられた照明器具。「体調に変化はない？」白衣を着たボブカットの研究員E（イネ 医学薬学研究センター 医師）が僕に声をかけて、足早に通り過ぎた。首に聴診器をかけている。

研究員F（ドミトリ 理工学研究センター 物理・化学研究室）がやって来た。長くてボサボサの髪とヒゲ。腰を下ろすとソファが大きくへこんだ。しばらく四人で談笑していると、今度は研究員J（アイザック 理工学研究センター 物理・化学研究室）が現れた。彼は少し怒りっぽいが天才だ。実家の庭にリンゴの木があったそう。ドミトリが「やあ、アイザック」と呼びかけると、彼が「やあ、ドミトリ」と応じた。「明日までにこれ読んでおきなさい」アイザックがテーブルの上に置かれた分厚い本を指さした。僕がその本を見つめていると、突然それが少し浮き上がったのでびっくりした。「フォースが共にあらんことを」彼が僕の方を向いて言った。

力は目に見えませんが、そのはたらきには次のようなものがあります。

- ① 物体の形を変える
- ② 物体の動きを変える
- ③ 物体を支える

上の文章で、力のはたらきと関係がある部分にアンダーライン（下線）を引いてみましょう。